

D-土木⑥・建築⑦

あいち女性輝きカンパニー認証又は女性活躍推進法に基づく認定(えるぼし認定又はプラチナえるぼし認定)(広域型)

対象	あいち女性輝きカンパニーの認証※1又は女性活躍推進法に基づく認定(えるぼし認定又はプラチナえるぼし認定)※2の有無
----	---

※1 認証書に記載の認証年月日が、当該工事の技術資料を提出する日の前日までの場合に認める。

※2 基準適合一般事業主認定通知書又は基準適合認定一般事業主認定通知書に記載の通知年月日が、当該工事の技術資料を提出する日の前日までの場合に認める。

女性の活躍促進宣言(地域型Ⅰ・Ⅱ)

対象	女性の活躍促進宣言の有無 ※1
----	-----------------

※1 女性の活躍促進宣言受理証明書に記載の受理日が、当該工事の技術資料を提出する日の前日までの場合に認める。

D-土木⑦ 週休2日制工事の取組実績(土木関係工事)

対象及び評価方法	・愛知県建設局又は都市・交通局発注工事において完全週休2日制工事の取組証又は週休2日制工事の取組証が発行された工事 ・加算点は最大1点とし、完全週休2日制工事の取組証1件で1点、週休2日制工事の取組証1件につき0.5点で、その合計点により評価 ・発注工事と同業種の工事での取組に限る ※1
対象期間	過去1年間(取組証の日付で判断する) ※2

※1 PC工事、法面処理工事等、工事の種類を指定する必要がある場合は、工事の種類を指定する。

※2 前年度に、当該工事の技術資料を提出する日の前日までを含む。

D-土木⑧・建築⑧ ISO14000シリーズの取得(土木関係工事の地域型Ⅱ以外)

対象	原則、今回の入札に参加する営業所がISO14001に認証されていること
----	-------------------------------------

5-2 加算点

各評価項目の加算点は、p. 36～49「愛知県建設局、都市・交通局及び建築局総合評価落札方式の標準加算点表」及び別表1～10のとおりとする。

6 共同企業体の取扱いについて

各評価項目の共同企業体の取扱いについては、以下の表1及び表2のとおりとする。

表1 共同企業体での入札参加、及び共同企業体で行った過去の実績等に関する取扱い（単体及び経常建設共同企業体での入札）

今回入札	入札参加資格		総合評価項目																	
	企業施工実績	2年平均工事成績	企業施工実績	契約後VE	優良工事	中長期的な担手の確保・国家資格等の取得	ICT活用工事	配管予定技術者施工経験	企業施工実績	企業工事成績	契約後VE	優良工事	中長期的な担手の確保・国家資格等の取得	ICT活用工事	配管予定技術者施工経験	営業所・経理等・応急修理・ポランテア・応急危険度判定士・ISO14001	県内公共工事実績	地域内企業施工実績（建築）	雇用実績・おおいち女性活躍カンパニーの認証・えるほし認定・フラチナスのほし認定・女性の活躍促進宣言	完全週休2日制工事・週休2日制工事
単体	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	県内の営業所実績（県外工事も該当）を認める	県内の営業所実績を認める	県内の営業所実績を認める	制限なし	制限なし	元請工事の監督技術者、主任技術者又は現場代理人としての実績を認める	元請工事の監督技術者、主任技術者又は現場代理人としての実績を認める	元請工事の監督技術者、主任技術者又は現場代理人としての実績を認める	元請工事の監督技術者、主任技術者又は現場代理人としての実績を認める	元請工事の監督技術者、主任技術者又は現場代理人としての実績を認める	元請工事の監督技術者、主任技術者又は現場代理人としての実績を認める	元請工事の監督技術者、主任技術者又は現場代理人としての実績を認める	元請工事の監督技術者、主任技術者又は現場代理人としての実績を認める	元請工事の監督技術者、主任技術者又は現場代理人としての実績を認める	該当業種工事全部を認める	県内の営業所実績を認める	制限なし	制限なし
経常JV	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	代表構成員として出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする
特定JV	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める
単体	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める
経常JV	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする（注2参照）	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする	出資比率20%以上のものみ単体と同様の扱いとして対象とする
特定JV	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める	該当工事全部を認める

注1) 本件工事に、単体で入札参加する場合は「今回入札」欄で「単体」の範囲を、経常共同企業体で入札する場合は「経常JV」の範囲を選びます。次に、過去の実績として、例えば、単体での実績であれば「過去実績」の「単体」の行、特定JVでの実績なら「特定JV」の行を選びます。選んだ行と、「入札参加資格」の項目（「企業施工実績」、「2年平均工事成績」等）の列や「総合評価項目」の項目（「企業施工実績」、「建設機械の保有」等）の列がクロスする欄に、実績等の取扱いが記載されています。

注2) 経常JVは、全ての構成員が同じもののみ同一の企業体として扱いますので、入札参加資格でも過去の施工実績は同一と見なせる企業体での実績が原則です。ただし、そうした工事実績がない場合には、過去の特定及び経常JVでの実績を単体実績扱いとして入札参加資格を審査します。

表 2 共同企業体での入札参加、及び共同企業体で行った過去の実績等に関する取扱い（特定建設工事共同企業体での入札）

今回入札	過去実績		入札参加資格													
	企業施工実績	入札参加資格 配置予定技術者 施工経験	2年平均 工事成績	企業施工実績	企業工事成績	契約後VE	優良工事	中長期的な担い 手の確保・国家 資格等の取得 者・建設機械の 保有・ISO9 001	ICT活用工事	総合 評価 項目	配属予定技術者 の施工実績・工 事成績・CP D・資格保有	営業所・災害協 定等・応急修 理・ポランティ ア・応急危険度 判定士・ISO 14001	県内公共工事 実績（土木）	地域内企業 施工実績 （建築）	雇用実績・あい ち女性活躍カ ンパニーの認証・ えるほし認定・ほ ぷらチナえるほ し認定・女性の 活躍促進宣言	完全週休2日制 工事・週休2日 制工事
単体	該当工事全部を認 める	該当工事全部を認 める	今回入札JV全構 成員名々について 該当業種工事全部 を対象とする	今回入札JV構成 員のいずれか1者 の底内営業所実績 （限外工事も該 当）を認める	今回入札JV代表 構成員の該当業種 工事全部を対象と する	今回入札JV構成 員のいずれか1者 の底内の営業所実 績を認める	今回入札JV構成 員のいずれか1者 の底内の営業所実 績を認める	今回入札JV構成 員のいずれか1者 が該当すれば認め る	今回入札JV構成 員のいずれか1者 の実績を認める	代表構成員が配置 する技術者の元 請工事における監 理技術者、監理技 術者補佐、主任技 術者又は現場代理 人としての実績を 認める ただし施工実績、 工事成績及びC/P Dは同一のもの とする	今回入札JV構成 員のいずれか1者 が該当すれば認め る	今回入札JV構成 員のいずれか1者 の該当業種工事全 部を認める	今回入札JV構成 員のいずれか1者 の底内営業所実績 を認める	今回入札JV構成 員のいずれか1者 の活躍促進宣言 が該当すれば認め る	今回入札JV構成 員のいずれか1者 の実績を認める	
特定JV	出資比率20%以 上のもののみ単体 と同等の扱いとし て対象とする	対象としない	対象としない	実績として認めな い	実績として認めな い	実績として認めな い	実績として認めな い	実績として認めな い	実績として認めな い	実績として認めな い	実績として認めな い	実績として認めな い	実績として認めな い	実績として認めな い	実績として認めな い	実績として認めな い
特定JV	出資比率20%以 上のもののみ単体 と同等の扱いとし て対象とする	出資比率20%以 上のもののみ単体 と同等の扱いとし て対象とする	出資比率20%以 上のもののみ単体 と同等の扱いとし て対象とする	出資比率20%以 上のもののみ単体 と同等の扱いとし て対象とする	出資比率20%以 上のもののみ単体 と同等の扱いとし て対象とする	出資比率20%以 上のもののみ単体 と同等の扱いとし て対象とする	出資比率20%以 上のもののみ単体 と同等の扱いとし て対象とする	出資比率20%以 上のもののみ単体 と同等の扱いとし て対象とする	出資比率20%以 上のもののみ単体 と同等の扱いとし て対象とする	出資比率20%以 上のもののみ単体 と同等の扱いとし て対象とする	出資比率20%以 上のもののみ単体 と同等の扱いとし て対象とする	出資比率20%以 上のもののみ単体 と同等の扱いとし て対象とする	出資比率20%以 上のもののみ単体 と同等の扱いとし て対象とする	出資比率20%以 上のもののみ単体 と同等の扱いとし て対象とする	出資比率20%以 上のもののみ単体 と同等の扱いとし て対象とする	出資比率20%以 上のもののみ単体 と同等の扱いとし て対象とする

注1) 過去の実績として、例えば、単体の実績であれば「過去実績」の「単体」の行、特定JVでの実績なら「特定JV」の行を選びます。選んだ行と、「入札参加資格」の項目（「企業施工実績」、「2年平均工事成績」等）の列や「総合評価項目」の項目（「企業施工実績」、「建設機械の保有」等）の列がクロスする部分に、実績等の取扱いが記載されています。

注2) 入札参加資格要件においていづれかの構成員に地域要件がある場合は、「企業の技術力」及び「配置予定技術者の能力」については広域型の評価項目を、「地域精進度地域貢献度」については広域型の評価項目を適用します。

注3) 「企業施工実績」「契約後VE」「優良工事」について、今回入札JVと過去実績JVが同一の企業で構成される場合、実績件数を重複して認めません。

7 加算点の申告について

(1) 入札参加者による加算点申告書の作成

- 評価項目「企業の技術力に関する事項」、「配置予定技術者の能力に関する事項」及び「地域精通度・地域貢献度」の加算点については、入札参加者が加算点申告書を作成し、参加申込と同時に提出するものとする。

(2) 落札候補者の決定及び事後審査方式

- 「技術提案に関する事項」の加算点(標準型及び簡易型のみ)と加算点申告書の加算点を足した合計加算点と入札価格から各入札参加者の評価値を計算し、評価値が最も高い入札参加者を落札候補者とする。
- 落札候補者のみ事後審査を行う。

(3) 事後審査によるペナルティ

- 落札候補者となり事後審査によって、過大な加算点となっている評価項目が判明した場合、ペナルティとしてその評価項目について審査した加算点から減点を行うものとする。
- 減点は下記の計算式のとおりとする。
- ただし、入札参加者の申告した加算点が過小となる評価項目がある場合は、その評価項目の加算点の見直しはしないものとする。

減点 = 入札参加者が申告した加算点 - 審査した加算点

計算例 : 審査した加算点1点、入札参加者が申告した加算点2点

減点 = 2点 - 1点 = 1点

審査した加算点1点、入札参加者が申告した加算点3点

減点 = 3点 - 1点 = 2点

※従来は、減点後の加算点のみを公表としていたが、企業の本来の加算点と減点を区別するため、審査後の加算点と減点を別々に公表することとした(計算式の書き方は変わったが、算出される減点の内容に変更はない)。

- 事後審査の結果、落札候補者の評価値が次順位の評価値を下回った場合は、次順位の評価値の者を新たな落札候補者とし、事後審査を行う。

8 技術提案の履行確認等について

- 原則、技術提案資料のとおり施工するものとする。ただし、施工することが望ましくないとして監督員があらかじめ指示した内容については施工してはならない。
- 監督・検査により技術提案の履行の確認を行う(履行確認の方法は、予め監督員と請負者で協議して定めるが、提案項目ごとの最初の確認は原則として立会確認とする)。
- 請負者の責により技術提案の内容の不履行が認められた場合は、再度の施工をしなければならない。しかし、再度施工が困難あるいは合理的でない等の理由で不履行が確定した場合、工事成績点の減点に加えて契約金額の減額を行うものとする。ただし、契約金額の減額は標準型において評価された技術提案が不履行となった場合とする。
- 工事成績点は10点を限度に提案数に対する不履行の割合で減点する〔簡易型、標準型〕。
 - 例1) 提案数が2で不履行が1のとき 減点 = $10 \text{点} \times 1 \div 2 = 5.0 \text{点}$
 - 例2) 提案数が3で不履行が1のとき 減点 = $10 \text{点} \times 1 \div 3 = 3.3 \text{点}$
 - 例3) 提案数が3で不履行が2のとき 減点 = $10 \text{点} \times 2 \div 3 = 6.6 \text{点}$(小数第2位を切り捨て)

- 契約額の減額Cは次式による〔標準型〕。

$$C = \text{契約額} \times \{1 - (100 + \text{不履行時の加算点}^*) \div (100 + \text{契約時の加算点})\}$$

※不履行時の加算点は、不履行となった技術提案の加算点相当分をマイナスした合計加算点とする。

例1) 不履行となった技術提案が2つで、評価点が2点だったとき

$$\text{不履行時の加算点} = \text{契約時の加算点} - 2 \times 2 \text{点}$$

例2) 不履行となった技術提案が1つで、評価点が3点だったとき

$$\text{不履行時の加算点} = \text{契約時の加算点} - 1 \times 3 \text{点}$$

9 入札結果の公表について

○落札者決定後は各入札者の得点を別表11により公表する。

○なお、技術評価点の値に対して、書面(任意様式)により説明を求められることができるものとする。

入札執行願書 (総合評価落札方式)

別表 11

契約管理番号 2020-000000-000-15
 工事名 ○○○○工事
 路線等の名称 主要地方道 ○○線
 工事場所 ○○○町地内
 予定価格 11,000,000 円 (1,000,000 円) 税抜き 10,000,000 円
 調査基本価格 (調査価格) 9,680,000 円 (880,000 円) 税抜き 8,800,000 円
 請負代金額 9,570,000 円 (870,000 円) 税抜き 8,700,000 円
 (1万円未満切り捨て)

(参考) 予定価格に占まれる法定種別技術費 円

入札者氏名	標準点 ①	企業の技術力														配置予定技術者の能力						地域精通度・地域貢献度										小計	減点 点	加算点 計②	入札書 記載金額 (円) ③	税抜き 提案価格 ④	③<④の場合 は⑤	③>④の場合 は⑥	評価値 = ((③+②) / ①) *(注の欄/ 予定価格)	備考
		簡易な 施工計画	評価対象 工事の 施工実績	工事成績 評定点	契約後 VE実績 の有無	優良 工事表彰 の有無	中長期 的な担 い手の 確保	国家資格 等の取得 者の有無	建設 機械の 保有	積 立 工 用 工 事 の 取 組 実 績 の 有 無	I S O 9 0 0 1 認 証 取 得 の 有 無	別 格 対 象 工 事 の 施 工 実 績	C P D 実 績	最 上 位 工 事 成 績 評 定 点	地 域 内 の 営 業 所 の 有 無	地 域 内 の 公 共 工 事 施 工 実 績	防 災 安 定 等 に 基 づく 協 定 締 結 及 び 活 動 実 績 の 有 無	ホ ラ ン テ ィ ア 活 動 実 績 の 有 無	雇 用 実 績 の 有 無	女 性 の 活 用 促 進 宣 言 の 有 無	無 視 体 制 工 事 の 取 組 実 績 の 有 無	I S O 1 4 0 0 1 認 証 取 得 の 有 無																		
◎◎主理株式会社	100	5	2	5	2	0	0	1	0.5	2	1	1	2	0	2	1	6	2	0	0	0	1	33.5	-2.0	31.5	8,700,000	8,800,000	8,800,000	8,800,000	1,49432	落札 決定									
□□建設株式会社	100	3	3	0	1	1	1	1	0	1	1	0	2	0	2	1	1	0.5	0	0	0	0	19.5		19.5	9,000,000	8,800,000	9,000,000	9,000,000	1,32778										
株式会社△△工務店	100	3	1	4	0	2	1	0	0	0	1	1	1	1	2	0	5	1	1	0	1	1	26.0		26.0	9,800,000	8,800,000	9,800,000	9,800,000	1,28571										
株式会社●●	100	1	1	3	2	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	2.5	0	0	0.5	1	0	16.0		16.0	9,900,000	8,800,000	9,900,000	9,900,000	1,17172										
株式会社△△組	100	0	0	1	0	0	1	1	0.5	2	0	0	1	1	1	0	0	2	1	0.5	0	0	12.0		12.0	9,900,000	8,800,000	9,900,000	9,900,000	1,13131										

注) 上記の入札書記載金額に100分の10に相当する額を加算した金額が法令上の申込に係る金額である。
 ※企業の技術力、配置予定技術者の能力、地域精通度・地域貢献度の加算点は入札参加者が申告した点数で、落札候補者となった者のみ事後審査を行った結果の点数である。

10 手続きフロー

フロー	期間 ^{※1}	入札参加者	発注者
公告 ↓	14日	・技術資料(技術提案 ^{※2} 、加算点申告表等)の作成 ・本案件に関する質問	・質問受付及び回答
入札参加申込受付 ↓ 技術提案の審査 ^{※2} ↓	1～14日	・入札参加申込書の提出 ・技術資料の提出	・技術提案の審査 ^{※2} ・意見聴取(委員会開催) ^{※2}
入札・開札 ↓ 落札候補者への通知 ↓ 事後審査資料の受付 ↓ 事後審査 ↓	7～14日	・入札書、工事費内訳書の提出	・開札、評価値の計算 ・落札候補者の決定
落札者決定 ↓ 入札結果の通知と公表 ↓ 契約		・事後審査資料の提出	・事後審査資料の審査 ・加算点の見直し ・評価値の再計算 ^{※3}
	7日		・落札者の決定(審査会開催)
			・技術評価点の値に関する質問受付及び回答

※1 簡易型、特別簡易型の標準的な期間(土日含む)

※2 簡易型の場合のみ

※3 評価値の再計算の結果、落札候補者の評価値が次順位の評価値を下回った場合は、次順位の評価値の者を新たな落札候補者とし、事後審査を行う。

愛知県建設局、都市・交通局及び建築局総合評価落札方式における適用及び形式選定基準表

落札方式	予定価格	形式	種別	工事の種類
総合評価落札方式	1千万円以上 5千万円未満	特別簡易型	広域型	PC、鋼構造物、法面、設備系
			地域型Ⅰ	難易度により全工種適用可 ※1、※3
			地域型Ⅱ	全工種 ※1、※3
	【土木関係工事】 5千万円以上 2億円未満	特別簡易型	広域型	PC、しゅんせつ、鋼構造物、法面、設備系
			地域型Ⅰ	全工種(建築関係工事除く)、ただし難易度により建築関係工事も適用可 ※2、※3
			地域型Ⅱ	全工種 ※2、※3
	【建築関係工事】 5千万円以上 1億5千万円未満	簡易型	広域型	PC、しゅんせつ、鋼構造物、法面、設備系
			地域型Ⅰ	全工種
	【土木関係工事】 2億円以上 WTO対象工事未満	特別簡易型	広域型	設備系
			地域型Ⅰ	PC、しゅんせつ、鋼構造物、法面、設備系以外の工事
簡易型		広域型	PC、しゅんせつ、鋼構造物、法面、設備系	
		地域型Ⅰ	PC、しゅんせつ、鋼構造物、法面、設備系以外の工事	
【建築関係工事】 1億5千万円以上 WTO対象工事未満	標準型	広域型	全工種	
上記以外 (価格競争)	1千万円以上			総合評価落札方式の適用が不適当な工事又は予定価格5千万円未満の簡易な工事

(共通)

注) 工事の内容に応じて、予定価格によることなく、高度な形式に変更することができる。

なお、上表の区分で該当する形式より簡易な形式に変更する場合は、愛知県建設局・都市・交通局・建築局総合評価審査委員会通常部に諮り、審査する。

注) 上表以外のWTO対象工事の総合評価落札方式については、愛知県建設局・都市・交通局・建築局総合評価審査委員会特別部に諮り、審査する。

(土木関係工事)

注) 設備系とは、水道、機械、電気、管及び電気通信工事をいう。

※1 地域型で予定価格1千万円以上、5千万円未満の工事については、原則、地域型Ⅱを適用するが、特に技術力を要する工事や安全対策に配慮が必要な工事は地域型Ⅰを適用できる。

※2 地域型で予定価格5千万円以上、2億円未満の工事については、配置予定技術者の能力を重視する必要がある工事は原則、地域型Ⅰを適用し、それ以外の工事は原則、地域型Ⅱを適用する。

(建築関係工事)

※3 予定価格1千万円以上、1億5千万円未満の工事については、原則、地域型Ⅱを適用するが、特に技術力を要する工事や安全対策に配慮が必要な工事は地域型Ⅰを適用できる。

注) 種別の分類

種別	
地域型	入札参加企業の主たる営業所の所在を愛知県内又は愛知県内の一部地域に限定する工事とする。
地域型Ⅰ	企業の技術力、配置予定技術者の能力、地域精進度・地域貢献度を総合的に評価するもの
地域型Ⅱ	企業の技術力を基本として、配置予定技術者の能力に関する評価項目等を軽減したもの(技術者育成型)
広域型	上記以外の工事とする。

注) 形式の分類

形式	審査内容	評価項目
特別簡易型	施工実績や工事成績などから施工の適切性・確実性を審査する工事	企業の技術力 配置予定技術者の能力 地域精進度・地域貢献度
簡易型	(B) 特別簡易型の審査内容に加え、品質・出来形管理、工期短縮、安全対策又は環境対策等に関する簡易な施工計画を求め、標準案に対する施工能力等の技術力を審査する工事	簡易な施工計画(課題数1) 企業の技術力 配置予定技術者の能力 地域精進度・地域貢献度
	(A) 特別簡易型の審査内容に加え、品質・出来形管理、工期短縮、安全対策又は環境対策等に関する簡易な施工計画を求め、標準案に対する工夫等により、施工能力等の技術力を審査する工事	簡易な施工計画(課題数1~2) 企業の技術力 配置予定技術者の能力 地域精進度・地域貢献度
標準型	特別簡易型の審査内容に加え、工事目的物の性能・機能に関する技術提案等を求め、工事品質をより向上させる高度な技術力を審査する工事	技術提案(課題数2~3) 企業の技術力 配置予定技術者の能力 地域精進度・地域貢献度

令和4年度 愛知県建設局、都市・交通局及び建築局総合評価落札方式の標準加算点表(1)

【土木関係工事】

対象業種：土木、舗装、しゅんせつ、造園、鋼構造物、とび・土工、解体工事、塗装、土木系設備(機械、電気、電気通信)

形式	標準型		簡易型		特別簡易型				備考	
	2億円以上		5千万円以上		1千万円以上					
	種別	加算点	種別	加算点	地域型I	広域型	地域型I	地域型II		
技術提案	技術提案	30								
	簡易な施工計画	3	○	5又は10	○	5又は10				
	施工実績	5	○	3	○	3	○	3	○	
	工事成績	2	○	2	○	2	○	2	○	
	契約後VE実績	2	○	2	○	2	○	2	○	
	優良工事表彰									
	中長期的な担い手の確保									
	国家資格等の取得者									
	建設機械の保有	1 [0]	○	1 [0]	○	1 [0]	○	1 [0]	○	※1
	ICT活用工事の取組実績	2 [0]	○	2 [0]	○	2 [0]	○	2 [0]	○	※2
企業の技術力	ISO9000	1	○	1	○	1	○	1	○	
	小計	16		16		16		16		
	施工実績	2	○	2	○	2	○	2	○	
	工事成績	5	○	5	○	5	○	5	○	
	資格保有									
	CPD実績	2	○	2	○	2	○	2	○	
	小計	9		9		9		9		
	地域内の拠点有無	0 ~ 2	○	0 ~ 2	○	0 ~ 2	○	0 ~ 2	○	
	県内(地域内)の施工実績	3	○	3	○	3	○	3	○	
	防災協定等及び活動実績	2 <1>	○	2 <1>	○	2 <1>	○	2 <3>	○	※3
地域精進度 地域貢献度	ボランティア活動実績									
	雇用実績									
	あいち女性職スキルセンターの認証 えるほし認定又はフラチアえるほし認定	0.5	○	0.5	○	0.5	○	0.5	○	
	女性の活躍促進宣言									
	週休2日制工事の取組実績	1	○	1	○	1	○	1	○	
	ISO14000	1	○	1	○	1	○	1	○	
	小計	7.5 ~ 9.5		7.5 ~ 9.5		7.5 ~ 9.5		7.5 ~ 9.5		
	別表									

注)WTO案件は除く。
 注)土木、舗装、とび・土工、解体工事以外は※1について[]の配点とする。
 注)土木、舗装、しゅんせつ、とび・土工工事以外は※2について[]の配点とする。
 注)PC、鋼構造物、塗装、土木系設備工事は※3のうち、「協定締結」及び「防災協定等の活動実績」の評価項目を除いて<>の配点とする。
 注)「包括協定に基づく防災活動実績」はすべての形式・工種で対象とする。
 注)上記以外については、愛知県建設局、都市・交通局及び建築局総合評価審査委員会(部会)に諮り審査する。

令和4年度 愛知県建設局、都市・交通局及び建築局総合評価落札方式の標準加算点表(2)

【建築関係工事】

対象業種: 建築、建築系設備(水道、機械、電気、管、電気通信)、消防施設、内装、清掃施設、防水、建具、解体工事

形式	標準型		簡易型		特別簡易型				備考
	1億5千万円以上		5千万円以上		1千万円以上				
	広域型	地域型 I	広域型	地域型 I	広域型	地域型 I	地域型 II	地域型 II	
	50.5	27.5 ~ 35.5	25.5 ~ 30.5	27.5 ~ 35.5	20.5	22.5 ~ 25.5	20.5	23.5	
評価項目及び配点		除算方式		除算方式					
項目	配点	項目	配点	項目	配点	項目	配点	項目	配点
技術提案	技術提案	30							
	簡易な施工計画	○	5 又は 10	○	5 又は 10				
	施工実績	○	2	○	2	○	2	○	2
	工事成績	○	2	○	2	○	2	○	2
	契約後VE実績	○	2	○	2	○	2	○	2
企業の技術力	優良工事表彰	○	1	○	1	○	1	○	1
	中長期的な担い手の確保	○	1	○	1	○	1	○	1
	国家資格等の取得者	○	1	○	1	○	1	○	1
	ISO9000	○	1	○	1	○	1	○	1
	小計		8		10		8		10
配置予定技術者の能力	施工実績	○	2	○	2	○	2	○	2
	工事成績	○	2	○	2	○	2	○	2
	資格保有	○	2	○	2	○	2	○	2
	CPD実績	○	2	○	2	○	2	○	2
	小計		6		6		6		6
地域精進度 地域貢献度	地域内の拠点有無	○	2	○	2	○	2	○	2
	県内(地域内)での企業評価対象工事の施工実績	○	2	○	2	○	2	○	2
	応急修理等に関する協定等	○	1	○	1	○	1	○	1
	ボランティア活動実績			○	1	○	1	○	1
	応急危険度判定士有無			○	1	○	1	○	1
その他	雇用実績			○	1	○	1	○	1
	あいち女性活躍カンパニーの認証 えるほし認定又はフラチナえるほし認定	○	0.5	○	0.5	○	0.5	○	0.5
	女性の活躍促進宣言	○	1	○	1	○	1	○	1
	ISO14000	○	6.5	○	6.5	○	6.5	○	6.5
	小計		6.5		7.5 ~ 10.5		7.5 ~ 10.5		7.5 ~ 10.5
別表		別表10		別表9		別表8		別表7	
									別表6-(1)
									別表6-(2)

注)WTO案件は除く。

注)上記以外については、愛知県建設局、都市・交通局及び建築局総合評価審査委員会(部会)に諮り審査する。

令和4年度 配点 (P4.4.1改訂) 別表1-1(1)【形式】特別簡易型【種別】地域型I(主たる営業所の地域要件設定あり)

A 技術提案(該当無し)

B 企業の技術力(18点)

Table with 4 columns: 評価項目, 点, 評価基準と配点, 実績なし 0. Rows include: ①企業評価対象工事の施工実績, ②工事成績, (1)過去3年間の各年度最上位成績の平均点, (D)前年度の7.5点以上の倍率, ③契約後VEの実績の有無, ④優良工事表彰の有無, ⑤中長期的な担い手の確保, ⑥国家資格等の取得者の有無, ⑦建設機械の保有, ⑧ICT活用工事の取組実績の有無, ⑨ISO9000シリーズ取得の有無.

C 配置予定技術者の能力(8点)

Table with 4 columns: 評価項目, 点, 評価基準と配点, 実績なし 0. Rows include: ①技術者評価対象工事の施工実績, ②工事成績, ③CPD実績.

D 地域精進度・地域貢献度(1.2, 5.~1.4, 5点)

Table with 4 columns: 評価項目, 点, 評価基準と配点, 実績なし 0. Rows include: ①地域内での拠点の有無, ②地域内での公共工事施工実績, ③防災協定等に基づく協定締結, ④ボランティア活動の実績の有無, ⑤雇用実績, ⑥女性の活躍促進宣言の有無.

E 地域精進度・地域貢献度(1.2, 5.~1.4, 5点) (続)

Table with 4 columns: 評価項目, 点, 評価基準と配点, 実績なし 0. Rows include: ①地域内での拠点の有無, ②地域内での公共工事施工実績, ③防災協定等に基づく協定締結, ④ボランティア活動の実績の有無, ⑤雇用実績, ⑥女性の活躍促進宣言の有無.

F 地域精進度・地域貢献度(1.2, 5.~1.4, 5点) (続)

Table with 4 columns: 評価項目, 点, 評価基準と配点, 実績なし 0. Rows include: ①地域内での拠点の有無, ②地域内での公共工事施工実績, ③防災協定等に基づく協定締結, ④ボランティア活動の実績の有無, ⑤雇用実績, ⑥女性の活躍促進宣言の有無.

G 地域精進度・地域貢献度(1.2, 5.~1.4, 5点) (続)

Table with 4 columns: 評価項目, 点, 評価基準と配点, 実績なし 0. Rows include: ①地域内での拠点の有無, ②地域内での公共工事施工実績, ③防災協定等に基づく協定締結, ④ボランティア活動の実績の有無, ⑤雇用実績, ⑥女性の活躍促進宣言の有無.

H 地域精進度・地域貢献度(1.2, 5.~1.4, 5点) (続)

Table with 4 columns: 評価項目, 点, 評価基準と配点, 実績なし 0. Rows include: ①地域内での拠点の有無, ②地域内での公共工事施工実績, ③防災協定等に基づく協定締結, ④ボランティア活動の実績の有無, ⑤雇用実績, ⑥女性の活躍促進宣言の有無.

I 地域精進度・地域貢献度(1.2, 5.~1.4, 5点) (続)

Table with 4 columns: 評価項目, 点, 評価基準と配点, 実績なし 0. Rows include: ①地域内での拠点の有無, ②地域内での公共工事施工実績, ③防災協定等に基づく協定締結, ④ボランティア活動の実績の有無, ⑤雇用実績, ⑥女性の活躍促進宣言の有無.

別表1-2(2) 【種別】特別雇員型 【種別】地域型Ⅱ(主たる営業所の地域要件設定あり)

別表1-2(2)

加算点合計 27.5~29.5点

A 技術提案 (該当無し)

B 企業の技術力 (16点)

評価項目	点	評価基準と配点		
①企業評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間) ※	3	実績3件以上	実績2件	実績1件
②工事成績 (イ)又は(ロ)のいずれか加算点の大きい方を適用する。)				
(イ)過去3年間の各年度最上位成績の平均点 ※	5	点≥83は5	83>点≥81は4	81>点≥79は3
(ロ)前年度の75点以上の件数 ※	5	5件以上	4件	3件
③優良工事表彰の有無 (過去10年間) ※	2	2件以上	1件	実績無
④中長期的な担い手の確保 (過去2年間) ※	1	有	無	0
⑤国家資格等の取得者の有無 (過去5年間) ※	1	有	無	0
⑥建設機械の保有	1	8台以上	4台以上8台未満	0.5
⑦I C T活用工事の取組実績の有無 (過去1年間) ※	2	有	無	0
⑧I S O 9000シリーズ取得の有無	1	有	無	0

C 配置予定技術者の能力 (4点)

評価項目	点	評価基準と配点	
①資格保有 ※	2	1級〇〇施工管理技士	2級〇〇施工管理技士
②C P D実績 (過去3年間)	2	1年間の推奨単位を3年以内に取得	2

D 地域精通度・地域貢献度 (7.5~9.5点)

評価項目	点	評価基準と配点		
①地域内での拠点の有無 ※	2	同一市町村 (又は地区) 内	2	同一市町村 (又は市町村) 管内
②地域内での公共工事施工実績 (過去5年間) ※	1	同一市町村内で実績あり	1	同一市町村内で実績なし
③防災協定等に基づく協定締結及び活動実績の有無 (愛知県及び市町村との協定による活動実績は過去3年間) (愛知県との包括協定に基づく活動実績は過去5年間) (上記の各防災協定等に基づく防災訓練は前年度1年間)	3	愛知県実績2件以上	1	愛知県実績1件
④ボランティア活動の実績の有無 (過去2年間のうちいずれかの1年間)	2	愛知県安全なまちづくり・交通安全パートナーシップ企業の登録活動の実績有	1	愛知県安全なまちづくり・交通安全パートナーシップ企業の登録活動の実績有
⑤女性の活躍促進宣言の有無	0.5	有	0.5	無
⑥週休2日制工事の取組実績 (過去1年間) ※	1	合計点1	0.5	合計点0

注1：発注工事毎の詳細については、公告文で確認してください。

別表2【形式】特別簡易型【種別】広域型

別表2

【土木関係工事】

加算点合計	32.5~34.5点 (28.5~30.5点 ^{注2,注3,注4,注5})
-------	--

A 技術提案 (該当無し)

B 企業の技術力 (16点)

評価項目	評価基準と配点					実績	配点	備考
	3	2	1	0	実績なし			
①企業評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間) ※	実績3件以上	実績2件	実績1件	実績なし	0	実績なし	0	※国・地方公共団体(特殊法人等含む)の施工実績(民間除く)。 ※発注工事により件数を増加する場合があります。
②工事成績(過去3年間のいずれか1件) ※ 愛知県建設局、都市・交通局長若しくは建設局発注工事又は中部地方整備局発注工事 (中部地方整備局の工事成績評定点の評価基準は下段の点とする)	点≥83は5 (点≥82)	83>点≥81は4 (82>点≥81)	81>点≥79は3 (81>点≥80)	79>点≥77は2 (80>点≥79)	77>点≥75は1 (79>点≥78)	77>点≥75は1 (79>点≥78)	左記以外	0 ※発注工事と同業種のものとする。
③契約後VEの実績の有無(過去5年間) ※	V E採用1件以上	2	2	2	0	採用実績無	0	※愛知県建設局、都市・交通局長若しくは建設局発注工事の業績を対象とする。VE採用とは、VE課案としての採用である。
④優良工事表彰の有無(過去10年間) ※	2	2	1	0	0	実績無	0	※愛知県建設局、都市・交通局長若しくは建設局発注工事を対象とする。
⑤建設機械の保有	1	9台以上	1	0	0	左記以外	0	※公告日時点における建設機械の保有又は1年以上の)リースを認める。
⑥ICT活用工事の取組実績の有無(過去1年間) ※	2	有	2	0	0	0	0	※愛知県建設局又は都市・交通局長若しくは建設局発注工事での取組実績(ICT建設機械による施工に限る。)を対象とし、発注工事と同業種のものとする。
⑦ISO9000シリーズ取得の有無	1	有	1	0	0	0	0	

C 配置予定技術者の能力 (9点)

評価項目	評価基準と配点					実績	配点	備考
	2	1	0	0	0			
①技術者評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間) 監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者又は現場代理人の実績	実績2件以上	実績1件	実績なし	0	0	実績なし	0	※国・地方公共団体(特殊法人等含む)の施工実績(民間除く)。
②工事成績(過去5年間のいずれか1件) ※ 監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者又は現場代理人の実績 愛知県建設局、都市・交通局長若しくは建設局発注工事又は中部地方整備局発注工事 (中部地方整備局の工事成績評定点の評価基準は下段の点とする)	点≥83は5 (点≥82)	83>点≥81は4 (82>点≥81)	81>点≥79は3 (81>点≥80)	79>点≥77は2 (80>点≥79)	77>点≥75は1 (79>点≥78)	79>点≥77は2 (80>点≥79)	77>点≥75は1 (79>点≥78)	左記以外 0 ※発注工事と同業種のものとする。
③CPD実績(過去3年間)	1	1	0	0	0	0	0	

D 地域貢献度・地域貢献度 (7.5~9.5点)

評価項目	評価基準と配点					実績	配点	備考
	2	1	0	0	0			
①主たる営業所在地 ※	事務所管内	愛知県内	左記以外	0	0	左記以外	0	※入れ参加資格の業種等により、配点が異なることがある。
②愛知県内での公共工事施工実績(過去10年間) ※	同一市町村	事務所管内	愛知県内	1	0	実績無	0	※発注工事と同業種のものとする。
③防災協定等に基づく協定締結及び 防災活動実績の有無 (愛知県との協定による活動実績は過去3年間) (愛知県との包括協定に基づく活動実績は過去5年間) (上記の各防災協定に基づく防災訓練は前年度1年間)	2	1	0	0	0	0	0	
④あいち女性活躍カンパニーの認証、えるぼし認定又はプラチナえるぼし認定の有無	0.5	有	0.5	無	0	0	0	
⑤団体2日制工事の取組実績(過去1年間) ※	1	合計点0.5	合計点0	0.5	合計点0	合計点0	0	※加算点は最大1点とし、完全団体2日制工事の取組証1件につき0.5点、その合計点により評価する。また、愛知県建設局又は都市・交通局長若しくは建設局発注工事での取組実績を対象とし、発注工事と同業種のものとする。
⑥ISO14000シリーズ取得の有無	1	有	1	0	0	0	0	

注1: B②及びC②の「工事成績」で「解体工事」については、「解体工事」による工事成績に加え、建設業法改正の経過措置期間(令和元年5月末)までの間に「とび・土工事業で受注した解体工事」を含む工事の成績も対象とします。

注2: B⑤の「建設機械の保有」については、土木、舗装、とび・土工、解体工事のみ対象とします。対象外の工種は【 】の配点とします。

注3: B⑥の「ICT活用工事の取組実績の有無」については、土木、舗装、しゅんせつ、とび・土工のみ対象とします。対象外の工種は【 】の配点とします。

注4: D②で「解体工事」における同業種の狭いのは、「解体工事」による「とび・土工事業で受注した解体工事」を含む工事の業績も対象とします。

注5: D③の「防災協定等の締結」及び「防災協定等の活動実績」については、P・C、鋼構造物、塗装、土木系設備工事は適用除外。ただし、「包括協定に基づく防災活動実績」は対象とし、<>の配点としてください。

注6: 発注工事の詳細については、公告文で確認してください。

【土木関係工事】

令和4年度 配点 (R4.4.1改訂)
別表3【形式】簡易型【種別】地域型Ⅰ(主たる営業所の地域要件設定あり)

別表3

加算点合計
43.5~50.5点
(37.5~44.5点)

A 技術提案 (5又は10点) (課題数1~2)	評価項目	点	評価基準と配点
①簡単な施工計画		10※	多段階評価

B 企業の技術力 (18点)	評価項目	点	評価基準と配点
①企業設備投資工事の施工実績 (過去5年間又は10年間)	実績2件以上 3	実績2件 2	実績1件 1
②工事成績 (順則として) (土木)を適用する。ただし、一般土木工事及び舗装工事は(イ)又は(ロ)のいずれか加算点の大きい方を適用する。)	5 点≥83は5 5件以上 5	83%点≥81は4 4件 4	実績なし 0
(イ)過去3年間の各年度最上位成績の平均点	2	VE採用1件以上 2	79%点≥77は2 2件 2
(ロ)前年度の75点以上の件数	2	その他採用1件 1	77%点≥75は1 1件 1
③契約総VEの実績の有無(過去5年間)	2	実績無 0	左記以外 0
④歴任工事表彰の有無(過去10年間)	1	有 1	採用実績無 0
⑤中長期的な担い手の確保(過去2年間)	1	有 1	※愛知県建設局、都市・交通局又は建築局発注工事(対象とする。)
⑥国家資格等の取得者の有無(過去5年間)	1	有 1	※愛知県建設局、都市・交通局又は建築局発注工事(対象とする。)
⑦建設機械の保有	1	8台以上 1	※愛知県建設局、都市・交通局又は建築局発注工事(対象とする。)
⑧ICT活用工事の取組実績の有無(過去1年間)	2	無 0	※愛知県建設局、都市・交通局又は建築局発注工事(対象とする。)
⑨ISO9000シリーズ取得の有無	1	有 1	※愛知県建設局、都市・交通局又は建築局発注工事(対象とする。)

C 配置予定技術者の能力 (8点)	評価項目	点	評価基準と配点
①技術者評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間)	1	実績あり 1	実績なし 0
②工事成績(過去5年間の最上位成績点)	5	点≥83は5	83%点≥81は4
③C/PD実績(過去3年間)	2	1年間の推定単位数を3年以内に取得 2	左記以外 0

D 地域貢献度・地域貢献度 (12.5~14.5点)	評価項目	点	評価基準と配点
①地域内での拠点の有無	2	同一市町村 (又は地区) 内 事務所 (又は市町村) 管内 左記以外 0	※同一市町村内で実績あり 1
②地域内での公共工事施工実績 (過去5年間)	1	同一市町村内で実績あり 1	※愛知県の建設状況
③防災協定等に基づく協定締結及び活動実績の有無 (愛知県及び市町村との協定による活動実績は過去5年間) (愛知県との包括協定に基づく活動実績は過去5年間) (上記の各防災協定等に基づく防災訓練は前年度1年間)	6 <3>	愛知県実績3件以上 2 愛知県実績2件以上 0.5	愛知県実績2件 1 愛知県実績1件 0.5
④ボランティア活動の実績の有無 (過去2年間のうちいずれかの1年間)	2	愛知県実績2件以上 1	愛知県実績1件 0.5
⑤女性の活躍促進宣言の有無	1	有 1	無 0
⑥女性の活躍促進宣言の有無	0.5	有 0.5	無 0
⑦選定2日制工事の取組実績(過去1年間)	1	合計点1	合計点0
⑧ISO14000シリーズ取得の有無	1	有 1	無 0

注1 B②及びC②の「工事成績」については、「解体工事」による工事成績に加え、建築業法改正の経過措置期間(令和元年5月末)までの間に「とび・土工事業で受注した解体工事」を含む工事の成績も対象とします。
注2 B⑦の「建設機械の保有」については、「土木、舗装、とび・土工、解体工事のみ対象とします。対象外の工種は【 】の配点とします。
注3 B⑧の「ICT活用工事の取組実績の有無」については、土木、舗装、とび・土工工事のみ対象とします。対象外の工種は【 】の配点とします。
注4 D②の「解体工事」における同業種の扱いは、「解体工事」を含む工事の実績も対象とします。
注5 D③の「協定締結」及び「防災協定等」の活動実績については、P.C.、鋼構造物、塗装、土木系設備工事は適用対象外。ただし、「包括協定」に基づく防災活動実績は対象とします。
注6 発注工事毎の詳細については、公告文で確認してください。

※課題(A)については配点を10点、課題(B)については配点を5点とする。	評価項目	点	評価基準と配点
①		77%点≥75は1 1件 1	左記以外 0
②		79%点≥77は2 2件 2	左記以外 0
③		その他採用1件 1	採用実績無 0
④		実績無 0	※愛知県建設局、都市・交通局又は建築局発注工事(対象とする。)
⑤		有 1	※愛知県建設局、都市・交通局又は建築局発注工事(対象とする。)
⑥		有 1	※愛知県建設局、都市・交通局又は建築局発注工事(対象とする。)
⑦		4台以上8台未満 0.5	左記以外 0
⑧		無 0	※愛知県建設局又は都市・交通局発注工事での取組実績(IC7建設機械による取組)を対象とし、発注工事と同業種のものとする。
⑨		有 1	無 0

①企業設備投資工事の施工実績 (過去5年間又は10年間)	実績2件以上 3	実績2件 2	実績1件 1	実績なし 0
②工事成績 (順則として) (土木)を適用する。ただし、一般土木工事及び舗装工事は(イ)又は(ロ)のいずれか加算点の大きい方を適用する。)	5 点≥83は5 5件以上 5	83%点≥81は4 4件 4	79%点≥77は2 2件 2	77%点≥75は1 1件 1
(イ)過去3年間の各年度最上位成績の平均点	2	VE採用1件以上 2	その他採用1件 1	左記以外 0
(ロ)前年度の75点以上の件数	2	その他採用1件 1	採用実績無 0	左記以外 0
③契約総VEの実績の有無(過去5年間)	2	実績無 0	※愛知県建設局、都市・交通局又は建築局発注工事(対象とする。)	※愛知県建設局、都市・交通局又は建築局発注工事(対象とする。)
④歴任工事表彰の有無(過去10年間)	1	有 1	※愛知県建設局、都市・交通局又は建築局発注工事(対象とする。)	※愛知県建設局、都市・交通局又は建築局発注工事(対象とする。)
⑤中長期的な担い手の確保(過去2年間)	1	有 1	※愛知県建設局、都市・交通局又は建築局発注工事(対象とする。)	※愛知県建設局、都市・交通局又は建築局発注工事(対象とする。)
⑥国家資格等の取得者の有無(過去5年間)	1	有 1	※愛知県建設局、都市・交通局又は建築局発注工事(対象とする。)	※愛知県建設局、都市・交通局又は建築局発注工事(対象とする。)
⑦建設機械の保有	1	8台以上 1	4台以上8台未満 0.5	左記以外 0
⑧ICT活用工事の取組実績の有無(過去1年間)	2	無 0	※愛知県建設局又は都市・交通局発注工事での取組実績(IC7建設機械による取組)を対象とし、発注工事と同業種のものとする。	※愛知県建設局又は都市・交通局発注工事での取組実績(IC7建設機械による取組)を対象とし、発注工事と同業種のものとする。
⑨ISO9000シリーズ取得の有無	1	有 1	無 0	無 0

C 配置予定技術者の能力 (8点)	評価項目	点	評価基準と配点
①技術者評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間)	1	実績あり 1	実績なし 0
②工事成績(過去5年間の最上位成績点)	5	点≥83は5	83%点≥81は4
③C/PD実績(過去3年間)	2	1年間の推定単位数を3年以内に取得 2	左記以外 0

D 地域貢献度・地域貢献度 (12.5~14.5点)	評価項目	点	評価基準と配点
①地域内での拠点の有無	2	同一市町村 (又は地区) 内 事務所 (又は市町村) 管内 左記以外 0	※同一市町村内で実績あり 1
②地域内での公共工事施工実績 (過去5年間)	1	同一市町村内で実績あり 1	※愛知県の建設状況
③防災協定等に基づく協定締結及び活動実績の有無 (愛知県及び市町村との協定による活動実績は過去5年間) (愛知県との包括協定に基づく活動実績は過去5年間) (上記の各防災協定等に基づく防災訓練は前年度1年間)	6 <3>	愛知県実績3件以上 2 愛知県実績2件以上 0.5	愛知県実績2件 1 愛知県実績1件 0.5
④ボランティア活動の実績の有無 (過去2年間のうちいずれかの1年間)	2	愛知県実績2件以上 1	愛知県実績1件 0.5
⑤女性の活躍促進宣言の有無	1	有 1	無 0
⑥女性の活躍促進宣言の有無	0.5	有 0.5	無 0
⑦選定2日制工事の取組実績(過去1年間)	1	合計点1	合計点0
⑧ISO14000シリーズ取得の有無	1	有 1	無 0

注1 B②及びC②の「工事成績」については、「解体工事」による工事成績に加え、建築業法改正の経過措置期間(令和元年5月末)までの間に「とび・土工事業で受注した解体工事」を含む工事の成績も対象とします。
注2 B⑦の「建設機械の保有」については、「土木、舗装、とび・土工、解体工事のみ対象とします。対象外の工種は【 】の配点とします。
注3 B⑧の「ICT活用工事の取組実績の有無」については、土木、舗装、とび・土工工事のみ対象とします。対象外の工種は【 】の配点とします。
注4 D②の「解体工事」における同業種の扱いは、「解体工事」を含む工事の実績も対象とします。
注5 D③の「協定締結」及び「防災協定等」の活動実績については、P.C.、鋼構造物、塗装、土木系設備工事は適用対象外。ただし、「包括協定」に基づく防災活動実績は対象とします。
注6 発注工事毎の詳細については、公告文で確認してください。

別表5【形式】構造型【種別】広域型

【土木関係工事】

加算点合計 (58.5~60.5点 ※23.83点)

別表5

A 技術提案 (3.0点) (課題数2~3)

評価項目	点	評価基準と配点
①工事目的物の性能・機能に関する技術提案	自由	自由
②社会的要請に関する技術提案	自由	自由

B 企業の技術力 (1.6点)

評価項目	点	評価基準と配点		
		3	2	1
①企業評価対象工事の施工実績 (過去10年間又は15年間) ※	3	実績3件以上	実績2件	実績1件
②工事成績(過去3年間のいずれか1件) ※ 愛知県建設局、都市・交通局長若しくは建築局発注工事又は中部地方整備局発注工事 (中部地方整備局の工事成績評定点の評価基準は下段の点とする)	5	点≥83は5 (点≥82)	83>点≥81は4 (82>点≥81)	81>点≥79は3 (80>点≥79)
③契約後VEの実績の有無(過去5年間) ※	2	VE採用1件以上	2	その他採用1件
④優良工事表彰の有無(過去10年間) ※	2	2件以上	1件	実績無
⑤建設機械の保有	1 [0]	8台以上	1	4台以上8台未満
⑥ICT活用工事の取組実績の有無(過去1年間) ※	2 [0]	有	2	無
⑦ISO9000シリーズ取得の有無	1	有	1	無

C 配置予定技術者の能力 (9点)

評価項目	点	評価基準と配点		
		2	1	0
①技術者評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間) ※ 監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者又は現場代理人の実績	2	実績2件以上	2	実績1件
②工事成績(過去5年間のいずれか1件) ※ 監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者又は現場代理人の実績 愛知県建設局、都市・交通局長若しくは建築局発注工事又は中部地方整備局発注工事 (中部地方整備局の工事成績評定点の評価基準は下段の点とする)	5	点≥83は5 (点≥82)	83>点≥81は4 (82>点≥81)	81>点≥79は3 (80>点≥79)
③CPD実績(過去3年間)	2	1年間の推奨単位を2年以上に取得	2	1年間の推奨単位を3年以上に取得

D 地域精通度・地域貢献度 (7.5~9.5点)

評価項目	点	評価基準と配点		
		2	1	0
①主たる営業所在地 ※	2	事務所管内	2	愛知県内
②愛知県内の公共工事施工実績(過去10年間) ※	3	同一市町村	3	事務所管内
③防災協定等に基づく協定締結及び 防災活動実績の有無 (愛知県との協定による活動実績は過去3年間) (愛知県との包摂協定に基づく活動実績は過去5年間) (上記の各防災協定に基づく防災訓練は前年度1年間)	2 <1>	防災協定等の締結	1	左記以外
		愛知県との協定締結中	1	左記以外
④あいち女性輝きカンパニーの認証、えるほし認定又はプラチナえるほし認定の有無	0.5	有	0.5	無
		有	0.5	無
⑤週休2日制工事の取組実績(過去1年間) ※	1	合計点1	0.5	合計点0
⑥ISO14000シリーズ取得の有無	1	有	1	無

注1：B②及びC②の「工事成績」で「解体工事」については、「解体工事」による工事成績に加え、建設業法改正の経過措置期間(令和元年5月末)までの間に「とび・土工事業で受注した解体工事」を含む工事の成績も対象とします。
注2：B⑤の「建設機械の保有」については、土木、舗装、とび・土工、解体工事のみ対象とします。対象外の工種は「」の配点とします。
注3：B⑥の「ICT活用工事の取組実績の有無」については、土木、舗装、しゅんせつ、とび・土工事業のみ対象とします。対象外の工種は「」の配点とします。
注4：D②の「解体工事」における同業種の実績は、「解体工事」に加え、建設業法改正の経過措置期間(令和元年5月末)までの間に「とび・土工事業で受注した解体工事」を含む工事の実績も対象とします。
注5：D③の「防災協定等の締結」及び「防災協定等の活動実績」については、P.C.、舗装、土木系設備工事は適用対象外。ただし、「包摂協定に基づく防災活動実績」は対象とし、「>」の配点としてください。
注6：発注工事集の詳細については、公告文で確認してください。

別表6-(1) 【形式】特別簡易型 【種別】地域型Ⅰ (主たる営業所の地域要件設定あり)

加算点合計 22.5~25.5点

別表6-(1)

A 技術提案 (該当無し)

B 企業の技術力 (10点)

評価項目	点	評価基準と配点
①企業評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間)	2	実績2件以上 2 実績1件 1 実績なし 0
②工事成績 (過去3年間の各年度最上位成績の平均点) ※	2	81>点 ≥ 79は 1.5 79>点 ≥ 75は 0.5 左記以外 0
③契約後VEの実績の有無 (過去5年間) ※	2	VE採用1件以上 2 その他採用2件以上 2 その他採用1件 1 採用実績無 0
④優良工事表彰の有無 (過去10年間) ※	1	2件以上 1 1件 0.5 実績無 0
⑤中長期的な担い手の確保 (過去2年間)	1	有 1 無 0
⑥国家資格等の取得者の有無 (過去5年間) ※	1	有 1 無 0
⑦ISO9000シリーズ取得の有無	1	有 1 無 0

C 配置予定技術者の能力 (5点)

評価項目	点	評価基準と配点
①技術者評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間) 監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者又は現場代理人の実績	1	実績あり 1 実績なし 0
②工事成績 (過去5年間の最上位成績点) ※ 監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者又は現場代理人の実績	2	81>点 ≥ 79は 1.5 79>点 ≥ 77は 1 左記以外 0
③CPD実績 ※	2	1年間の推奨単位(12単位)を2年以内に取得 2 1年間の推奨単位の半分(6単位)を2年以内に取得 1

D 地域精進度・地域貢献度 (7.5~10.5点)

評価項目	点	評価基準と配点
①地域内での拠点の有無 ※	2	同一市町村内 2 事務所管内 1 左記以外 0
②地域内での企業評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間) ※	2	同一市町村内 2 事務所管内 1 左記以外 0
③応急修理等に関する協定等 ※	2	前年度の4月1日以前から継続して協定締結有 2 当該年度協定有 1 無 0
④ボランティア活動の実績の有無 ※ (過去2年間のうちいずれかの1年間)	1	有 1 無 0
⑤愛知県被災建築物応急危険度判定士の登録者の有無 ※	1	有 1 無 0
⑥雇用実績 (過去2年間) ※	1	有 1 無 0
⑦女性の活躍促進宣言の有無	0.5	有 0.5 無 0
⑧ISO14000シリーズ取得の有無	1	有 1 無 0

注1：B②及びC②の「工事成績」で「解体工事」については、「解体工事業」による工事成績に加え、建設業法改正の経過措置期間（令和元年5月末）までの間に「とび・土工事業で受注した解体工事」を含む工事の成績も対象とします。

注2：発注工事毎の詳細については、公告文で確認してください。

令和4年度 配点 (R4.4.1改訂) 【建築関係工事】
別表6-(2)【形式】特別簡易型 【種別】地域型Ⅱ(主たる営業所の地域要件設定あり)

加算点合計 20.5~23.5点

別表6-(2)

A 技術提案 (該当無し)

B 企業の技術力 (10点)

評価項目	点	評価基準と配点
①企業評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間)	2	実績2件以上 2 実績1件 1 実績なし 0
②工事成績 (過去3年間の各年度最上位成績の平均点) ※	2	点≥81は2 81>点≥79は1.5 79>点≥75は0.5 左記以外 0
③契約後V Eの実績の有無(過去5年間) ※	2	V E採用1件以上 2 その他採用2件以上 2 その他採用1件 1 採用実績無 0
④優良工事表彰の有無(過去10年間) ※	1	2件以上 1 1件 0.5 実績無 0
⑤中長期的な担い手の確保(過去2年間)	1	有 1 無 0
⑥国家資格等の取得者の有無(過去5年間) ※	1	有 1 無 0
⑦ISO9000シリーズ取得の有無	1	有 1 無 0

C 配置予定技術者の能力 (3点)

評価項目	点	評価基準と配点
①資格保有 ※	1	1級〇〇施工管理技士 1 2級〇〇施工管理技士 0.5 左記以外 0
②CPD実績 ※	2	1年間の推奨単位(12単位)を2年以内に取得 2 1年間の推奨単位(12単位)を2年以内(6単位)を2年以内に取得 1 左記以外 0

D 地域精進度・地域貢献度 (7.5~10.5点)

評価項目	点	評価基準と配点
①地域内での拠点の有無 ※	2	同一市町村内 2 同一市町村内 1 左記以外 0
②地域内での企業評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間) ※	2	同一市町村内 2 前年度の4月1日以前から継続して協定締結有 2 当該年度協定有 1 無 0
③応急修理等に関する協定等 ※	2	有 1 無 0
④ボランティア活動の実績の有無 ※ (過去2年間のうちいずれかの1年間)	1	有 1 無 0
⑤愛知県被災建築物応急危険度判定士の登録者の有無 ※	1	有 1 無 0
⑥雇用実績 (過去2年間) ※	1	有 1 無 0
⑦女性の活躍促進宣言の有無	0.5	有 0.5 無 0
⑧ISO14000シリーズ取得の有無	1	有 1 無 0

注1：B②の「工事成績」で「解体工事」については、「解体工事」による工事成績に加え、建設業法改正の経過措置期間（令和元年5月末）までの間に「とび・土工事業で受注した解体工事」を含む工事の成績も対象とします。
注2：発注工事毎の詳細については、公告文で確認してください。

別表7 【形式】特別簡易型 【種別】広域型

【建築関係工事】

別表7

加算点合計 20.5点

A 技術提案 (該当無し)

B 企業の技術力 (8点)

評価項目	評価基準と配点			
	点	実績2件以上 2	実績1件 1	実績なし 0
①企業評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間)	2	点≥81は2 (点≥80)	81>点≥79は1 (80>点≥78)	79>点≥77は1 (78>点≥77)
②工事成績 (過去3年間のいずれか1件) ※ 愛知県建設局、都市・交通局若しくは建築局発注工事又は中部地方整備局発注工事 (中部地方整備局の工事成績評定点の評価基準は下段の点とする)	2	VE採用1件以上 2	その他採用 2 2件以上 2	その他採用 1 1件 0.5
③契約後VEの実績の有無 (過去5年間) ※	2	VE採用1件以上 2	その他採用 2 2件以上 2	その他採用 1 1件 0.5
④優良工事表彰の有無 (過去10年間) ※	1	2件以上 1	1件 0.5	実績無 0
⑤ISO9000シリーズ取得の有無	1	有 1	無 0	実績無 0

C 配置予定技術者の能力 (6点)

評価項目	評価基準と配点			
	点	実績2件以上 2	実績1件 1	実績なし 0
①技術者評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間) 監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者又は現場代理人の実績	2	点≥81は2 (点≥80)	81>点≥79は1 (80>点≥78)	79>点≥77は1 (78>点≥77)
②工事成績 (過去5年間のいずれか1件) ※ 監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者又は現場代理人の実績 愛知県建設局、都市・交通局若しくは建築局発注工事又は中部地方整備局発注工事 (中部地方整備局の工事成績評定点の評価基準は下段の点とする)	2	1年間の推奨単位 (12単位) を2年以内に取得 2	1年間の推奨単位の半分 (6単位) を2年以内に取得 1	1年間の推奨単位の半分 (6単位) を2年以内に取得 0
③CPD実績 ※	2	1年間の推奨単位 (12単位) を2年以内に取得 2	1年間の推奨単位の半分 (6単位) を2年以内に取得 1	1年間の推奨単位の半分 (6単位) を2年以内に取得 0

D 地域精進度・地域貢献度 (6.5点)

評価項目	評価基準と配点			
	点	事務所管内 2	愛知県内 1	左記以外 0
①主たる営業所所在地	2	事務所管内 2	愛知県内 1	左記以外 0
②県内での企業評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間) ※	2	事務所管内 2	愛知県内 1	左記以外 0
③応急修理等に関する協定の状況 ※	1	協定有 1	無 0	※B①で対象とした施工実績を施工場所によっても評価します。
④あいち女性難きカンパニーの認証、えるぼし認定又はプラチナえるぼし認定の有無	0.5	有 0.5	無 0	※協定期間に関係なく、県との応急修理等に関する協定の有無を評価します。
⑤ISO14000シリーズ取得の有無	1	有 1	無 0	無 0

注1：B②及びC②の「工事成績」で「解体工事」については、「解体工事」による工事成績に加え、建設業法改正の経過措置期間 (令和元年5月末) までの間に「とび・土工事業で受注した解体工事」を含む工事の成績も対象とします。

注2：発注工事毎の詳細については、公告文で確認してください。

別表8【形式】簡易型【種別】地域型Ⅰ(主たる営業所の地域要件設定あり)

加算点合計 27.5~35.5点

別表8

A 技術提案 (5点又は10点) (課題数1~2)

評価項目	点	評価基準と配点
①簡単な施工計画	10※	多段階評価

※課題(A)については配点を10点、課題(B)については配点を5点とする。

B 企業の技術力 (10点)

評価項目	点	評価基準と配点		
		実績2件以上	実績1件	実績なし
①企業評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間)	2	2件以上	実績1件	実績なし 0
②工事成績 (過去3年間の各年度最上位成績の平均点) ※	2	点≥81は2	81>点≥79は1.5	79>点≥77は1 左記以外 0
③契約後VEの実績の有無 (過去5年間) ※	2	VE採用1件以上	2件以上	その他採用2件以上 2 採用実績無 0
④優良工事表彰の有無 (過去10年間) ※	1	2件以上	1件	実績無 0
⑤中長期的な担い手の確保 (過去2年間)	1	有1	無0	※若手技術者の雇用実績。正規社員が29歳以下の若手技術者である場合、加算する。また、D5についても合わせて加算する(同一人物も認める)。
⑥国家資格等の取得の有無 (過去5年間) ※	1	有1	無0	※正規社員における国家資格等の取得者の有無を評価する。
⑦ISO9000シリーズ取得の有無	1	有1	無0	

※発注工事にふり件数を増加する場合がある。

※発注工事と同業種のものとする。実績のない年度の工事成績点は7.4点として計算する。

※愛知県建設局、都市・交通局又は建設局発注工事での実績を対象とする。VE採用とは、VE採用としての採用である。その他採用とは、新しい工夫、工法又はコスト削減策としての採用である。

※愛知県知事の表彰(愛知県建設局、都市・交通局又は建設局発注工事)を対象とする。

※若手技術者の雇用実績。正規社員が29歳以下の若手技術者である場合、加算する。また、D5についても合わせて加算する(同一人物も認める)。

※正規社員における国家資格等の取得者の有無を評価する。

C 配置予定技術者の能力 (5点)

評価項目	点	評価基準と配点
①技術者評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間) 監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者又は現場代理人の実績	1	実績あり 1 実績なし 0
②工事成績(過去5年間の最上位成績点) ※ 監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者又は現場代理人の実績	2	点≥81は2 1年間の推奨単位(121年間の推奨単位の半分(6単位)を2年以内に取得 2)
③CPD実績 ※	2	81>点≥79は1.5 79>点≥77は1 左記以外 0

※発注工事と同業種のものとする。

※建築CPD運営会議が証明するCPD実績を評価の対象とする。

D 地域精進度・地域貢献度 (7.5~10.5点)

評価項目	点	評価基準と配点
①地域内での拠点の有無 ※	2	同一市町村内 2 同一市町村内 1 左記以外 0
②地域内での企業評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間) ※	2	同一市町村内 2 同一市町村内 1 左記以外 0
③応急修理等に関する協定等 ※	2	前年度の4月1日以前から継続して協定締結有 2 当該年度協定有 1 無 0
④ボランティア活動の実績の有無 ※ (過去2年間のうちいずれかの1年間)	1	有1 無0
⑤愛知県被災建築物応急危険度判定士の登録者の有無 ※	1	有1 無0
⑥雇用実績 (過去2年間) ※	1	有1 無0
⑦女性の活躍促進宣言の有無	0.5	有0.5 無0
⑧ISO14000シリーズ取得の有無	1	有1 無0

※入力参加者の地域要件により、配点が変わることがある。

※B①で対象とした施工実績を施工場所によっても評価します。

※愛知県との応急修理等に関する協定を、期間に応じて評価します。

※愛知県安全なまちづくり・交通安全・ハートナード企業の実績を評価します。

※当該企業の正規社員の「愛知県被災建築物応急危険度判定士」登録者の有無を評価します。

※正規社員の雇用実績。正規社員が29歳以下の若手技術者である場合、B5でも加算する。

※ISO14000シリーズ取得の有無

注1：B②及びC②の「工事成績」で「解体工事」については、「解体工事」による工事成績に加え、建設法改正の経過措置期間(令和元年5月末)までの間に「とび・土工事業で受注した解体工事」を含む工事の成績も対象とします。

注2：発注工事の詳細については、公告文で確認してください。

別表9【形式】簡易型【種別】広域型

【建築関係工事】

加算点合計 25.5~30.5点

別表9

A. 技術提案 (5点又は10点) (課題数1~2)

評価項目	点	評価基準と配点 多段階評価
①簡単な施工計画	10※	

※課題(A)については配点を10点、課題(B)については配点を5点とする。

B. 企業の技術力 (8点)

評価項目	点	評価基準と配点		
		実績2件以上	実績1件	実績なし
①企業評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間)	2	実績2件以上	実績1件	実績なし
②工事成績 (過去3年間のいずれか1件) ※ 愛知県建設局、都市・交通局長若しくは建築局発注工事又は中部地方整備局発注工事 (中部地方整備局の工事成績評定点の評価基準は下段の点とする)	2	点≥81は2 (点≥80)	81>点≥79は1 (80>点≥78)	79>点≥77は1 (78>点≥77)
③契約後V Eの実績の有無 (過去5年間) ※	2	V E採用1件以上	その他採用2件以上	その他採用1件
④優良工事表彰の有無 (過去10年間) ※	1	2件以上	1件	0
⑤ISO9000シリーズ取得の有無	1	有	無	0

※発注工事により件数を増加する場合がある。

77>点≥75は0.5 (77>点≥76)

左記以外 0

※発注工事と同業種のものとする。

※愛知県建設局、都市・交通局長若しくは建築局発注工事又は中部地方整備局発注工事 (中部地方整備局の工事成績評定点の評価基準は下段の点とする)。

採用実績無 0

その他採用1件

実績無 0

実績無 0

実績無 0

実績無 0

実績無 0

実績無 0

※愛知県知事の表彰(愛知県建設局、都市・交通局長若しくは建築局発注工事)を対象とする。

C. 配置予定技術者の能力 (6点)

評価項目	点	評価基準と配点		
		実績2件以上	実績1件	実績なし
①技術者評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間) 監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者又は現場代理人の実績	2	実績2件以上	実績1件	実績なし
②工事成績 (過去5年間のいずれか1件) ※ 監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者又は現場代理人の実績 愛知県建設局、都市・交通局長若しくは建築局発注工事又は中部地方整備局発注工事 (中部地方整備局の工事成績評定点の評価基準は下段の点とする)	2	点≥81は2 (点≥80)	81>点≥79は1 (80>点≥78)	79>点≥77は1 (78>点≥77)
③CPD実績 ※	2	1年間の推奨単位(121年間の推奨単位の半分(6単位)を2年以内)に取得	1	左記以外

77>点≥75は0.5 (77>点≥76)

左記以外 0

※発注工事と同業種のものとする。

※建築CPD運営会議が証明するCPD実績を評価の対象とする。

D. 地域精進度・地域貢献度 (6.5点)

評価項目	点	評価基準と配点		
		事務所管内	愛知県内	左記以外
①主たる営業所所在地	2	事務所管内	2	愛知県内
②県内での企業評価対象工事の施工実績 (過去5年間又は10年間) ※	2	事務所管内	2	愛知県内
③応急修理等に関する協定の状況 ※	1	協定有	1	無
④あいち女性輝きカンパニーの認証、えるぼし認定又はプラチナえるぼし認定の有無	0.5	有	0.5	無
⑤ISO14000シリーズ取得の有無	1	有	1	無

※B①で対象とした施工実績を施工場所によっても評価します。

※協定期間に関係なく、県との応急修理等に関する協定の有無を評価します。

注1：B②及びC②の「工事成績」による工事成績に加え、建設業法改正の経過措置期間(令和元年5月末)までの間に「とび・土工事業で受注した解体工事」を含む工事の成績も対象とします。

注2：発注工事毎の詳細については、公告文で確認してください。

別表10【形式】標準型【種別】広域型

【建築関係工事】

加算点合計 50.5点

別表10

A 技術提案 (30点) (課題数2~3)

評価項目	点	評価基準と配点
①工事目的物の性能・機能に関する技術提案	自由	自由
②社会的要請に関する技術提案	自由	自由

B 企業の技術力 (8点)

評価項目	点	評価基準と配点		
		実績2件以上	実績1件	実績なし
①企業評価対象工事の施工実績 (過去10年間又は15年間)	2	2	1	0
②工事実績 (過去3年間のいずれか1件) ※ 愛知県建設局、都市・交通局若しくは建築局発注工事又は中部地方整備局発注工事 (中部地方整備局の工事成績評定点の評価基準は下段の点とする)	2	点≥81は2 (点≥80)	81>点≥79は1.5 (80>点≥78)	79>点≥77は1 (78>点≥77)
③契約後VEの実績の有無 (過去5年間) ※	2	VE採用1件以上	その他採用2件以上	その他採用1件
④優良工事表彰の有無 (過去10年間) ※	1	2件以上	1件	0
⑤ISO9000シリーズ取得の有無	1	有	無	0

※発注工事により件数を増加する場合がある。

77>点≥75は0.5 (77>点≥76)

79>点≥77は1 (78>点≥77)

採用実績無

その他採用1件

実績無

有

無

0

0

0

※発注工事と同業種のものとする。

※愛知県建設局、都市・交通局又は建築局発注工事での実績を対象とする。VE採用とは、VE採用としての採用である。その他採用とは、新しい工夫、工法又はコスト削減策としての採用である。

※愛知県知事の表彰 (愛知県建設局、都市・交通局又は建築局発注工事) を対象とする。

C 配置予定技術者の能力 (6点)

評価項目	点	評価基準と配点		
		実績2件以上	実績1件	実績なし
①技術者評価対象工事の施工実績 (過去10年間又は15年間) ※ 監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者又は現場代理人の実績	2	2	1	0
②工事実績 (過去5年間のいずれか1件) ※ 監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者又は現場代理人の実績 愛知県建設局、都市・交通局若しくは建築局発注工事又は中部地方整備局発注工事 (中部地方整備局の工事成績評定点の評価基準は下段の点とする)	2	点≥81は2 (点≥80)	81>点≥79は1.5 (80>点≥78)	79>点≥77は1 (78>点≥77)
③CPD実績 ※	2	1年間の推奨単位 (12単位) を2年以内に取得	1年間の推奨単位の半分 (6単位) を2年以内に取得	左記以外

77>点≥75は0.5 (77>点≥76)

79>点≥77は1 (78>点≥77)

実績無

実績無

有

無

0

0

0

0

※建築CPD運営会議が証明するCPD実績を評価の対象とする。

D 地域精進度・地域貢献度 (6.5点)

評価項目	点	評価基準と配点		
		事務所管内	愛知県内	左記以外
①主たる営業所所在地	2	2	1	0
②県内の企業評価対象工事の施工実績 (過去10年間又は15年間) ※	2	2	1	0
③応急修理等に関する協定の状況 ※	1	協定有	無	0
④あいち女性輝きカンパニーの認証、えるほし認定又はプラチナえるほし認定の有無	0.5	有	0	0
⑤ISO14000シリーズ取得の有無	1	有	無	0

※B①で対象とした施工実績を施工場所によっても評価します。

※協定期間に関係なく、県との応急修理等に関する協定の有無を評価します。

注1：B②及びC②の「工事実績」で「解体工事」については、「解体工事」による工事実績に加え、建設業法改正の経過措置期間 (令和元年5月末) までの間に「とび・土工事業で受注した解体工事」を含む工事の成績も対象とします。

注2：発注工事毎の詳細については、公告文で確認してください。